

令和4年第14回公安委員会会議録

日 時	6月9日（木曜日）	自午後 1時30分 至午後 5時10分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	下山委員長 高木委員 小野委員 廣塚委員 宮尾委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長 首席監察官		

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞5件、意見の聴取10件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 随時監察の実施結果について

(1) 目的

春の人事異動から間がない時期に、業務上及び服務上の問題点を把握し、改善を図るため。

(2) 実施状況

ア 実施期間

令和4年4月14日（木）から同月29日（金）までの間（平日の執務時間外及び休日）

イ 実施所属

68か所（全警察署、交番、駐在所、本部執行隊等）

(3) 監察項目

ア 警察署、本部執行隊等

○ 当番員の庁舎管理・危機意識

○ 当番勤務時における証拠品、書類等の保管・管理、施錠状況、受傷事故防止状況、情報漏洩防止状況

○ ハラスメント等の調査

イ 交番、駐在所等

○ 適正な勤務状況（基本の遵守）

○ 地域警察における業務管理状況

(4) 実施結果

○ 受傷事故防止に留意した行動がとられている。

○ 警察施設の内外が整理整頓されている。

○ 資機材等の保管管理が徹底されていない。

(5) 今後の予定

実施結果を全所属にフィードバックし、要改善事項については、業務主管課と連携の上、今後の総合監察、随時監察等を通じて改善状況の検証を行う。

【委員からの質問等】

○ 委員から「抜き打ち的に実施する随時監察については短い期間に集中的に実施するのではなく、年間通して散発的に実施した方が、効果的ではないか。」旨の質問があり、警察側から「今回の随時監察だけでなく、監察課員が外に出る様々な機会に併せて交番・駐在所を回るなど、日常的にチェックしている。」旨の説明があった。

○ 委員から「監察時のチェック項目を事前に自所属で日頃からチェックさせる仕組みを作れば良いのではないか。」旨の意見があり、警察側から「今回の随時監

察では監察項目は示していないが、年間を通じた業務監察では、細かい監察のチェック項目までは示さないものの、このような業務について監察を行うという大きなところは示している。今回は業務監察で監察する項目のうち、当直時間帯に問題となりやすいものの一部について抜き打ち的に随時監察を実施したということである。」旨の説明があった。

## 2 令和3年度熊本県留置施設視察委員会による留置施設視察結果等について

令和3年度に実施した熊本県留置施設視察委員会による留置施設視察結果について報告がなされ、被留置者から受理した意見及び要望に対する委員会からの意見及び意見を受けて警察が講じた措置について説明がなされた。

### 【委員からの質問等】

- 委員から「出された要望の中には、看守に言えば直ぐに対応可能なものもあるが、留置されたのが初めての人は、自分から看守等に対してそのような要望を言えない場合もあると思う。便宜的な話については警察の方から行いにくいと、周知があまりなされていないとの印象を受けた。また、差入れについても、差入れできるものとできないものについての説明用の書面も準備されているが、書面だけでは伝わらない場合もあるので、声かけなどの工夫があると良いと思う。」旨の意見があった。

## 3 「電話で『お金』詐欺」被害防止対策の推進状況について

### (1) 「電話で『お金』詐欺」の被害状況（令和4年5月末現在）

#### ア 認知件数及び被害額（手口別）

種別/区分	認知件数		増減数	増減率	被害総額(円)		増減額	増減率
	R4. 1~5	R3. 1~5			R4. 1~5	R3. 1~5		
電話で『お金』詐欺合計	54	32	22	68.8%	145,250,603	88,732,324	56,518,279	63.7%
オレオレ	0	0	0	-	0	0	0	-
預貯金	1	6	-5	-83.3%	1,300,000	6,011,000	-4,711,000	-78.4%
架空料金請求	11	11	0	0.0%	92,334,000	69,168,500	23,165,500	33.5%
融資保証金	1	2	-1	-50.0%	3,080,000	275,000	2,805,000	1020.0%
還付金	28	10	18	180.0%	26,382,603	12,212,824	14,169,779	116.0%
金融商品	0	0	0	-	0	0	0	-
ギャンブル	1	1	0	0.0%	600,000	100,000	500,000	500.0%
交際あっせん	0	0	0	-	0	0	0	-
その他	0	0	0	-	0	0	0	-
キャッシュカード詐欺盗	12	2	10	500.0%	21,554,000	965,000	20,589,000	2133.6%

#### イ 特徴

- 市役所職員等を騙る還付金詐欺の被害が28件（前年同期比+18件）発生
  - 被疑者が被害者宅を訪問し、キャッシュカードをすりかえて盗むキャッシュカード詐欺盗の被害が12件（前年同期比+10件）発生
  - 「電話で『お金』詐欺」の被害者の約9割が65歳以上の高齢者であり、約9割が女性、被害金の送付方法の約7割がATM振込で約2割が手交型
  - 2月から4月にかけて、被害額が約4,000万円と約3,500万円に及ぶ高額被害のオレオレ詐欺が2件発生（被害届受理予定）
- (2) 還付金詐欺の被害防止緊急対策の実施結果（令和4年4～5月）

#### ア 還付金詐欺の被害状況

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月
認知件数	6件	11件	8件	2件	1件
被害額	¥5,495,066	¥9,942,285	¥7,977,410	¥1,969,505	¥998,337

#### イ 施策

##### (ア) 本部

- 金融機関等に対する「ストップ！ATMでの携帯電話運動」等の働きか

- け
- You Tube を活用した還付金詐欺の犯人の声の広報啓発動画の公開
- マスコミ広報の活用(テレビニュース5局18回、新聞掲載4紙11回)
- (イ) 警察署
  - 警察署長による金融機関への働きかけ
  - 金融機関防犯連絡会緊急会議の開催
  - ATMコーナーでの掲示物(床面表示、ポスター、ボイスポリス等)の設置
  - 関係機関と連携した防犯キャンペーンの実施
  - 防犯講話(寸劇、小学生による祖父母への啓発動画作成等)
- (3) 阻止状況(令和4年5月末現在)
  - 60件 19,193,500円(前年同期比-3件 +5,078,714円)
- (4) 今後の取組
  - ア 「ストップ!ATMでの携帯電話運動」等の継続実施
  - イ 「電話で『お金』詐欺」被害防止テレビCMの制作・放送

**【委員からの質問等】**

- 委員から「サポート詐欺の被害が増加しているなど、詐欺は色々形を変えてきているので、引き続き様々な工夫をして啓発していただきたい。」旨の意見があった。
- 委員から「コロナ禍で少なくなっていた地域の集いも少しずつ始まっているので、公民館や老人憩いの家等での集まりに警察の方から出向いて話をしていただきたい。」旨の意見があった。
- 委員から「警察だけ、金融機関だけ、お客様だけでというパーツパーツだけの対応では困難で、社会的に啓発していくことと、水際で防ぐ取組が必要だと考えている。金融機関でできることがあれば遠慮無く言ってもらいたい。」旨の意見があった。

**第3 報告・決裁等**

- 1 援助の要求についての決裁
  - 警備第二課長から説明があり、決裁が行われた。
- 2 教習資格認定審査に係る不認定処分の決裁
  - 生活環境課次席から説明があり、決裁が行われた。
- 3 行政文書部分開示決定に対する審査請求事案に係る審議会への諮問等についての決裁
  - 広報県民課文書情報室室長補佐から説明があり、決裁が行われた。
- 4 苦情(R4.No.3)処理の決裁
  - 捜査第一課長から説明があり、決裁が行われた。
- 5 令和4年第12回公安委員会会議録の決裁
  - 公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 6 熊本県情報公開・個人情報保護審議会からの説明聴取依頼についての報告及び説明資料作成の下命についての決裁
  - 公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 7 意見・要望(R4.No.18)受理の報告・決裁
  - 公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 8 審査請求(R4.No.4)受理の報告
  - 公安委員会事務室から報告が行われた。